

資料 2

2017年2月24日

富田林市立幼稚園・市立保育所のあり方検討委員会 様

要求とまちづくり富田林実行委員会

代表世話人 西田 卓司



富田林の幼稚園と保育所をよりよくする会

要 望 書

現在すすめられている「富田林市立幼稚園・市立保育所のあり方検討委員会」について、委員の総意に基づいた提言書にまとめていただくよう強く要望するものです。

この間5回開催された委員会は2回目に出された事務局案に基づいた議論にとどまっており、委員が事務局に質問する形式に終始しています。

少子化が進むなかで、「富田林で子育てしたい」と住民が実感できる幼稚園や保育所、子育て支援のあり方をまとめた提言書になることを期待しています。

最終のまとめを急ぐことなく、委員が共通理解できる内容でまとめるために下記の点について要望しまでの、文書にてご回答ください。

記

<要望項目>

1. 5回目に議論された「提言案」の5ページの①の項目について、適切な時期とはどのような時期か、集団保育に適した認可定数とはどれくらいなのか委員で共通理解してその内容をまとめてください。
2. 5ページの②市立幼保連携認定こども園の設置の項目について、リーディング施設としているが委員からは「こども園」に対する反対意見と不安の意見しかでていませんので、意見に基づき事実をまとめてください。
3. 5ページの③の項目について「インクルーシブ教育」の視点とあるが、障がいのある子の教育や保育については問題点と課題の項目にはふれていないので、設けてください。提言については、問題や課題をもっと議論して何が必要かまとめてください。
4. 6ページの(2)リーディング施設の位置づけとしているがリードする施設とそうでない施設にわけることになり、幼稚園や保育所に今までにはない格差をつくることになるのでやめてください。